

第3回特別展

神戸の文化財

神戸は日本の近代化の歩みと時を同じくして発展してきたが、また、古くから開けた地方であり、多くの貴重な文化財を有している。さらに中央の文化の影響を直接受けた文化財、地方色豊かな文化財などバラエティーにも富んでいる。

この特別展は、こうした数多くの有形・無形の文化財のなかから、考古資料、彫刻・絵画・工芸品・文書典籍・建造物などの仏教美術に関する資料、民俗芸能に関する資料を一堂に集め、広く展覧した。

会期／昭和58年4月12日（火）～5月29日（日）

会場／特別展示室1、南蛮美術館、ギャラリー

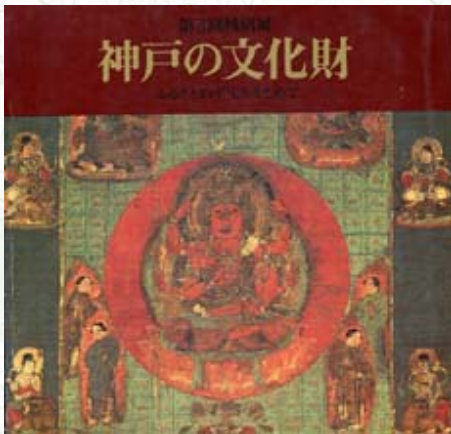
主催／神戸市立博物館、神戸市教育委員会

後援／文化庁、兵庫県教育委員会、神戸新聞社

開館日数／41日

入館者数／18, 551

出品件数／127件545点



石峰寺経塚出土遺物